

「まんまるの木」物語

一匹の牝牛が大きなまんまるの木の所で、みんな仲良く楽しく遊ぼうと思いました。
「おいしい草がたくさんあるよ。羊さんも馬さんもみんなおいでよ」

ヤギや羊、ウサギや馬がやってきて、みんなおいしい草を食べておしゃべりしました。
そのうちウサギさんがいいました。

「草ばかりじゃなくてニンジンも食べたいよ」

牝牛は「いいね」と言ってお餅をつくり、ニンジンを育てて、みんなで食べました。

「おいしいね」

鶏さんたちがやってきて歌を歌ってくれました。

「楽しいね」

りすさんたちが森で集めて来てくれた木の実で、おそろいの首飾りをつくりました。

「素敵だね」

調子にのった牝牛は、森のいろいろな動物たちに、「みくんなおいでよ」と、声をかけました。

「なんだかまんまるの木の所でもしろいことやっているみたい」と、狐に狸、鹿も猿も、狼や熊まで、やってきました。

始めての出会いにみんなわくわく、どきどき、自己紹介しあっているだけでも楽しいひと時です。

さて、でもそうになると、畑でつくった野菜だけではみんなのお腹はいっぱいになりません。牝牛は果物やはちみつ、木の実やきのこを獲りに森に行きましたが、お猿さんやりすさんのように、うまく獲ることができません。待ちくたびれた熊さんは、「自分ではちみつを獲ったほうがいいや」と言ってお、森へ帰っていきましました。

狼さんと狐さんはお腹が減って、お友達になつたはずのウサギさんと鶏さんを食べたくなってしまい、困っています。牝牛は慌てて、お肉は無理だからお魚を捕まえようと川に行ってみました。鼻面を水に突っ込んでばたばたやりますが、魚はちつともつかまりません。

そのうちに疲れ果てた牝牛は川岸に座り込んで、モオウモオウと大きな声で啼きました。そして川面にゆらゆらと揺れるゆがんだ自分の姿を見詰めているうちに、気がついたのです。

自分の持っている頑丈なひづめは、土の上を歩くことしかできない。自分の持っているすり鉢のような四角い歯は、草をすり潰して食べることでしかない。自分につくれるのはおいしい白いミルクだけなのだ…。

こうして、まんまるの木の下の物語はおしまいになりました。

ちゃん ちゃん

ご挨拶

いつもまんまるの木をご利用いただき、ありがとうございます。今年も残すところ1ヵ月となりました。誠に勝手ながら、まんまるの木は本年12月をもちまして閉店とさせていただきます。

2009年3月に「おぎゃ〜」と生まれ、ずっとよちよち歩きを脱せぬまま、姿を消すことになり、支えていただいた皆様には誠に心苦しい限りではありますが、牛女はまったく経営能力がなかったということで、ご勘弁くださいませ。

来年より、中断していた聞き書きによる「まほろば」探索を再開しつつ、これまでの牛女舎を「文章工房 まんまるの木」と改名し、文章ワークを通して、まんまるの木の活動が続けられたらと思っております。もちろん被災地応援旧暦カレンダーづくりも継続していきますので、何卒ご支援のほどお願い申し上げます。

そんなわけで、12月は滑り込み企画が盛りだくさん。閉店バザールもありますので、みなさんぜひお立ち寄り下さいませ。

1月以降、まんまるの木はHPを継続し、情報配信を続けます。時々覗いていただけたら幸いです。

尚、まんまるの木の後、牛女の長男とその仲間たちとのプロジェクト、グッドナイトガーデン（仮称）が立ち上がる予定です。若い人たちの力で素敵な場所が、出来上がることを思いますので、ご期待ください。

まんまるの木

<http://manmarunoki.com>

E-mail : usime-y@proof.ocn.ne.jp

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 2-37-15

TEL 03-5787-8793 Fax 03-5787-8794

